



【第47号】

令和8年3月12日

福島県小名浜港湾建設事務所 おなはまみなと通信

【発行元】
福島県小名浜港湾建設事務所
企画調査課
☎ 0246-53-7126

巨大風力発電建設現場を支える小名浜港

風力発電の柱の部分
「タワー」
このタワーを何本も
組み立て、建設され
ます。
完成高さは80m以上！



その大きさに
圧倒される風力部材

小名浜港藤原ふ頭では近年、大型貨物船による風力発電部材の輸入が増えています。部材は複数に分割された状態で輸入されますが、それでも一つ一つがとても大きく、重さもあります。このため、一度に多くの部材を運べる大型貨物船での輸送が効率的です。担当の方に聞いたところ、部材の輸入先は、ヨーロッパ、アジアなどでした。部材は港で一時保管された後、特殊トレーラーに積み替えられ、夜間輸送で建設現場まで運ばれます。



風車の羽根、その長さはいわきマリンタワー級

ブレード（羽根）



どちらも
約60m



いわきマリンタワー

小名浜港湾建設事務所では、いわき市内のみなとの管理、運営及び整備を行っています。「おなはまみなと通信」では、小名浜港をはじめとしたいわき市内の港湾・漁港の整備状況や話題等、みなとに関する情報を発信します。

※おなはまみなと通信は、当事務所のホームページからもご覧いただけます 二次元コードはこちらです



小名浜港の観光案内

ビューポイントの1つ
小名浜マリブリッジ



下から見上げる
マリブリッジは、
見ごたえがあるよ



小名浜港観光遊覧船「サンシャインシーガル」では、約40分間のクルージングを楽しむことができます。マリブリッジ下をくぐるタイミング、総トン数5万トンを超える大型貨物船やコンテナ船など、普段目にしない光景、また、夕方になると、やさしい西日に包まれた港の風景をゆったりと楽しめます。

観光遊覧船
「サンシャインシーガル」



春の陽気が
感じられる季節
クルージングへ
出かけてみませんか！

令和7年度の終わりに

今年度を振り返ると、4月に外航クルーズ船「リビエラ」の寄港、8月は小名浜道路開通、9月には「いわき・ら・ら・ミュウ」が道の駅としてランドオープンなど、様々な面から小名浜港がフォーカスされた1年となりました。小名浜港は今年5月に開港70周年を迎えることから、多くの方に小名浜港の魅力を伝えるために令和8年度も積極的なPRを展開してまいります。



みなとこぼれ話



臨港道路2号線内の「小名浜港トンネル」を抜けると港の風景が飛び込んできます。港に近いことから、トンネル坑口は船の形をイメージした特徴的なデザインとなっています。港内には、この他にも港をイメージした意匠の造形物が数多くありますので、探してみたいかがでしょうか。

